

磐城大衆新聞

毎月二回 一日十五日発行
 定價 一部十錢
 廣告料一行五十錢
 場所指定十錢増
 發行所 高木勝一郎
 印刷所 高木勝一郎
 福島縣平町村木町三十六番地
 發行所 磐城大衆新聞社

文藝

仕事中心主義の眞理

斯く心得べし

仕事の羅針盤

舵のない船を以て大洋を針盤で人生の航路を決定し横断せんとすれば何人が其て行く主義一言以て盡せ愚を笑はざるものがあらうばそれだ

諸君は人生の海を横断すべし 人類進化の歴史は人類が如く勇ましく山帆の號笛を音何なる方式を以て自然と戦かしてゴトンと揺ぎ出ひ續けて来たかの記録に他した若き汽船である、青春ならぬ人間の社會は自然の野心に輝きたる諸君の眼と戦ひ自然から衣を製造しは遙か大洋の彼方に理想郷を製造し住居を製造するを眺める亦た諸君の船は風一つの大きな工場である、波に耐ゆるべく充分構造の工場に設計室あり製圖室あり、そして石炭の載量も、社長室、重役室、營業室何千連の鵬程を乗つ切るに、社長の如く、人間の社會に足る、だが惜しいかな船機もそれがある、各人は各人は宜しきを得ない船は徒にの持場を受持つて忠實に勤める、廻る狂奔する徒らに諸君には諸君の持場あるにガソリンを消費する、諸君の與へられた仕事がある、諸君は今にして警戒しなされが全工場の生産能率にければ不可なり、されば諸君重大なる因果關係を有する君の船に如何なる舵機を與一點に於ては如何なる仕事ふべきかそれが諸君の今日にも甲乙があり得ぬ社會組織にとつて最大の御心事である、職の變革と事ふ事とはこの「職業中心主義」なる職の職制の改革を意味する諸君にお勧めする「職業」るので各人は各自の持場に於ては務めよ、仕事の羅針盤に於て働かなければならぬと

云ふ事實に對しては一點一劃の増減をも加へるものではないさればレーニンも働かざる者は喰ふべからずと痛切に唱渡した働かざる人類の永遠の相でありとすれば仕事を中心として是非々々を決定して行くこと云ふことは人生の海の正し、舵機でなければならぬ (つゝ)

募集

文藝其他新川柳
 投稿を募集します



本郡仁井浦海岸の景

春宵夜話

殿中刃傷の 佐野 郎
 六番町帯坂下の枝垂櫻
 佐野善左衛門は世直しの縁起

○天明 年中千代田 沼意知が營中の桔梗の間を過ぐる時、衝立の陰に隠れ左衛門の邸宅の跡である、佐野善左衛門はツト現はれて芝居では實名を憚つて佐野田沼の片背及兩股を斬、其善左衛門を佐野源左衛門と、善左衛門が斬殺した相善左衛門は即刻揚屋敷へ遣手は三浦荒次郎と云つてゐるはされ四月三日切腹仰せ付るが之は例の田沼意知でられた、其時善左衛門は二ある、先年新富座で三浦は十八歳で淺草東本願寺中の左衛門、善左衛門は仁左が徳本寺に葬られた、併し世扮し殊に仁左が明日營中で、善左衛門が田沼を斬三浦を刺さんと其の父つたの世直しとなつて、之と暗々裡に別離する一帯は、それが爲の幕府の弊政も改た頗る好評を博した、田沼はまつたと今でも善左衛門の天明三年春若寄となり當時墓には香華絶わす世直し神といつて

○顯職 在つて父 が多い、善左衛門が田沼意而して收賄は行はれ贅澤其知を斬つたのは意知は至つ極點に達し然も苛斂殊求、て卑しい系統であつたのを江戸市民は皆田沼を恨らん厭がり善左衛門が佐重常世である、田沼が曾て築地の末孫である處から其の系別邸を修理した時工事が濟圖を借りて己れの家と物とんで圍を取ると門の戸下にして返さないの途に此の

乃傷に及んだのだといふ
 湯本温泉ふし
 湯本温泉昔も今も湧いて流れて盡きやせぬ温泉ホン松
 湯本湯の町七色まつね 紅いボンボリ湯氣の中 温泉ホン松
 都はなれてまごころむ隙に 汽車は湯舟の横につく 温泉ホン松
 湯本よいとこ東は海よ 西は湯の岳赤井岳 温泉ホン松
 お湯も戻れば女房ももど

右版印刷の御用なら
 電話五三三番へ
 早く安く良く
 三國屋石版印刷所
 主 高野吉太郎

特賣
 たひら正宗
 花春
 醤油醸造元
 鹽屋 山崎合名會社
 平町 電話一〇番

石城銀行組合
 平藝妓屋組合
 平料理屋組合
 平三業保險組合
 平西洋料理組合
 平旅館組合
 平職業紹介營業所
 湯本藝妓屋組合
 湯本溫泉旅館組合
 小名大敷網漁場
 豊間大敷網漁場
 浪江銀行組合
 杉山炭礦々業所
 不動澤炭礦々業所
 浪花炭礦々業所
 古河炭礦々業所
 土木請負業
 丸山組
 猪狩菊三郎組

美術包装
 オブラート巻
 有平糖各種



商標
 ヤシサム
 東主 京須 支藤 店勇
 所菓製

平町二丁目

花見折詰用

シイ 磯田揚

大勉強

外に花見折詰大々の勉強
 是非御用命を乞ふ

藤市號

遠藤市松

電話三〇五番

平町二丁目

履物の御用命は是非
 三井履物店へ

電話百五十六番

平町二丁目

警城セメント特約販賣
 西村屋薬舗

電話三番

平町二丁目

荒物商 大一屋

電話一三番

平町三丁目

洋品 大黒屋勝次商店

電話一六番

平町五丁目

山野邊藥局

藥劑師 山野邊 東次郎

平町四丁目

各種提灯特別大勉強

スガノヤ提灯店

平町四丁目

海産物商 穴戸屋商店

電話二二五番

大々の勉強是非御用命を

西洋料理 カフエー松ヶ岡

平南町

御料理 大和家

電話一四番

平町四丁目

小野藥局

電話一四四番

平町四丁目

關内藥局

藥劑師 關内榮助
 電話四番

平紺屋町

御菓子卸商 大鶴屋商店

電話七〇四番

平町公園下

旅館御料理

いさご亭

電話三三〇番

平町研町

綿類卸商

吉村商店

電話二五七番

平古鍛冶町

青木精米所

良品廉賣に勝る商略なし
 磐城平町五丁目

警城セメント特約販賣店

和洋鋼鐵 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番 一三九番
 振替貯金口座東京一〇九五六番
 確實敏捷は久の生命なり

平驛前

昭和タクシー

電話三四三番

平新川町

佐藤材木店

電話三三五番

平新川町

荒物商 松崎長三郎

電話一七三番

平新川町

内科 木村醫院

電話三〇九番

春の彩り 装ひは三井へ

羽二重九寸、博多九寸、京御召と錦紗小紋
 主婦の友三秀會特選 ◇帯皮陳列◇
 何卒御用命は弊店へ……

平町三丁目

三井吳服店

電話三八、七五一番